

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター	
30			
※記入不要			
要望問題 良質米生産のための栽培管理技術の確立			
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】			
<p>近年、水稻における粒の充実不足や乳白粒、心白粒等の発生により、玄米の品質低下が著しい。その要因のひとつに登熟期間の高温が言われているが、気象条件だけではなく、品種や栽培技術の問題も考えられ、明確ではない。</p> <p>そこで、本県産米における品質低下の発生要因について明らかにするとともに、それに対応した良質米生産のための栽培管理技術の確立をお願いしたい。</p>			
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
研究対応区分	<input type="checkbox"/> ①研究所対応 <input type="checkbox"/> ②委託研究 <input type="checkbox"/> ③共同研究 <input type="checkbox"/> ④その他		
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業総合研究所（ <input type="checkbox"/> ②根府川試験場 <input type="checkbox"/> ③三浦試験場 <input type="checkbox"/> ④津久井試験場） <input type="checkbox"/> ⑤畜産研究所 <input type="checkbox"/> ⑥水産総合研究所（ <input type="checkbox"/> ⑦内水面試験場 <input type="checkbox"/> ⑧相模湾試験場） <input type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター		

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所		
部 署	生物資源部		
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>出穂期頃の高温（平均気温27℃以上）により乳白粒が発生するといわれています。その程度は品種により異なり、キヌヒカリは乳白粒が発生し易い品種と考えられます。したがってキヌヒカリについては高温障害の回避は難しく、水稻の品質向上に対する技術対策については、基本的技術を励行することがポイントと考えられます。しかしながら現場においては良質米生産の事例がみられますので、現地において実証する場合には、協力していきたいと考えています。</p> <p>なお、当所では「キヌヒカリ」あるいは「祭り晴」にかわる新たな奨励品種の選定を行っており、本年度は現地においても適応性を検討していますので、御協力をお願いいたします。</p>		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			